

学部・学科別 入学者受け入れ方針（アドミッションポリシー）

●農学部

1. アドミッションポリシー

農学部では、動植物の生命現象の追求を基礎とし、国内外における農作物や畜産物の安全かつ安定した生産と供給、さらには動植物の活用による人の生活の質の向上など、広範な領域で活躍できる人材を求めている。

- (1) 自然に学び、自然について深く考えることのできる人。
- (2) 人類社会の直面する食料問題、資源問題や環境問題などの解決、生命現象の解明に正面から取り組む意思と意欲を持った人。
- (3) 国語、英語、数学はもとより自然科学に関する基礎的な学力を身に付け、それを応用することのできる人。

●農学科

1. アドミッションポリシー

農学科では、作物の特質、栽培・管理技術、遺伝的多様性などに興味を持ち、豊かな心と実学的知力を身に付けて、国内外において農業を中心とした広範囲な分野で活躍しようとする意欲を持った人材を求めている。

- (1) 農業問題、環境問題などに積極的に取り組む意欲のある人。
- (2) 農業及び関連産業で活躍しようとする意欲のある人。
- (3) 生命、生物多様性など、生物学に関する素養を身に付けた人。

●畜産学科

1. アドミッションポリシー

畜産学科では、動物や動物関連産業に興味を持ち、将来の人生設計に生かすためにそれらに関わる知識・技能を身に付け、世界的な視野に立って活躍したいという意欲のある人材を求めている。

- (1) 本学科での専門科目の理解に必要な知識、特に生物、化学、数学、並びに英語の基礎的な学力を身に付けている人。
- (2) 生命の尊厳や倫理を学び多様な価値観を受け入れられる豊かな心を育み、深い洞察力を持ち、的確な判断ができる人。
- (3) 動物に強い関心を持ち、動物を通して生命現象の本質を追求する意欲があり、何事にも真摯な態度で臨み、これを活用して人類の食料・環境・健康に貢献する意欲を持っている人。

- (4) 動物の生命科学、生産管理科学、加工流通科学に関する技能を修得するための実験・実習・演習に積極的に取り組み、自分の考えを持ちそれをしっかり他人に伝える表現力を持っている人。

● バイオセラピー学科

1. アドミッションポリシー

バイオセラピー学科では、生き物、環境、人に関する知識を修得し、それらの関係性について深く考えながら、動植物の利活用を通して心豊かな社会の実現に貢献する意欲を持った人材を求めている。

- (1) 生き物のからだの仕組みや働きに関する自然科学の基礎的な知識を持つ人。
- (2) 生き物の存在を尊重し、倫理観を持って行動できる人。
- (3) 人と動植物との関係性に興味を持ち、修得した知識を持って社会に貢献する意欲を持っている人。
- (4) 人との対話を大切にし、自分の考えや意見を、誠意を持って説明できる人。

●応用生物科学部

1. アドミッションポリシー

応用生物科学部では化学と生物に興味を持ち、農学の知識と知恵を食料・環境・健康・バイオマスエネルギー分野で活用し、国際的な視野に立って実社会で活躍する意欲の高い人を求めている。

- (1) 高校卒業レベルの化学と生物の知識を持っている人。
- (2) 生命現象に興味を持ち、理論と技術を修得し、社会に貢献できる人。
- (3) 農業関連分野、食品・化学産業に関心あり、当該分野で活躍する意欲のある人。
- (4) 人々の健康に強い関心を持ち、豊かな人間力、コミュニケーション力を持っている人。

●バイオサイエンス学科

1. アドミッションポリシー

バイオサイエンス学科では、まず生命科学に強い興味を持ち、さらに環境問題・健康などにも興味を持つことにより、グローバルな視点でこれらの問題解決にチャレンジする意欲的な人を求めている。

- (1) 生命科学に関する知識を学習・理解し、それを応用することができる人。
- (2) 幅広い視野から問題意識を持ち、論理的に考えることができる人。
- (3) 生命科学をベースに資源・環境・健康等に強い関心を持ち、それらの問題解決に意欲的に取り組むことができる人。
- (4) 正しい技術を身に付け、自分の知識や考え方を適確に表現し伝えることができる人。

●生物応用化学科

1. アドミッションポリシー

生物応用化学科では化学、生物の基礎力を持ち、大学で築き上げた知識、技術、発想力、指導力を十分に活かし、国際的な視野に立って実社会の諸問題を解決する意欲のある人を求めている。

- (1) 高校卒業レベルの化学と生物の知識を持っている人。
- (2) 柔軟な思考力、的確な判断力を持っている人。
- (3) 農業関連分野並びに食品・化学産業に関心があり、当該分野で活躍する意欲のある人。
- (4) 論理的な文章を理解し、それを他人に伝えることが出来る人。

●醸造科学科

1. アドミッションポリシー

醸造科学科は、以下のような食や環境に関わる課題に微生物の力を利用し取り組むことに強い関心を持つ人を求めている。

- (1) 食や環境をはじめとしてバイオテクノロジーやケミカルバイオロジーにかかわる課題に微生物の力を利用し取り組むことに強い関心を持つ人。
- (2) 微生物学、有機化学、生化学などの生命現象の全体像を理解するための基礎的学問を学ぶ意欲を持つ人。
- (3) 生命現象の総体である醸造科学の理論と技術を修得して、酒類、食品、環境、創薬などの微生物関連産業における研究者・技術者として活躍することを目指す主体的・積極的な人。

●食品安全健康学科

1. アドミッションポリシー

食品安全健康学科は、生命に直結する「食の安全・安心」と「食の機能と健康」に興味を持ち、これを論理的に科学することで目の前のあらゆる困難な課題を解決する意欲を有し、将来、食品関連の技術者・研究者・教育者・行政官として指導的立場に立って活躍することを目指している人材を求めている。

- (1) 高等学校において化学及び生物学の授業を履修し、内容について十分に理解している人。また、語学においては文章の読解力、論理的な記述力を身に付けている人。
- (2) 主観的思考に捕らわれず、客観的事実を受け入れることにより事象における結果を判断できる人。
- (3) 「食の安全・安心」と「食の機能と健康」に普段から関心を持ち、未解決の課題に対し、自らが参加して解決したいという強い意欲を有する人。
- (4) 実験研究に興味があり、自らが中心となってその研究を実施する能力を有し、結果を社会に向けて発信できる人。

●栄養科学科

1. アドミッションポリシー

栄養科学科は、食・栄養・健康に興味を持ち、管理栄養士の資格を活かして科学的根拠に基づいた食・栄養・健康の情報を活用し、様々なライフステージの人々に対し、健康の保持・増進、疾患の予防・改善、生活の質の向上に積極的に貢献したい人を求めている。

- (1) 農学と医学を基盤とした食品学、栄養学に興味を持ち、学習意欲が旺盛で、管理栄養士として社会に貢献したい人。

- (2) 食品学、栄養学を学ぶ上で基礎となる化学、生物学をはじめとする自然科学、人文社会科学に関する基礎的な学力を身につけ、応用することのできる人。
- (3) 社会が抱える健康上の課題とニーズを適切にとらえ、科学的根拠の探索、情報の活用・発信のための研究に真摯に取り組むことのできる人。
- (4) 人々の健康に強い関心を持ち、豊かな人間力、コミュニケーション力を持っている人。

●地域環境科学部

1. アドミッションポリシー

地域環境科学部は、次のような人を求めている。

- (1) 環境問題や環境共生型・循環型の地域づくり、生物資源の保全・利用・管理・運営に興味を持っている人。
- (2) それらの実現に向けて幅広い知識への関心や柔軟な思考力を身に付けている人。
- (3) それらの実現に向けてチャレンジする意欲を持った人。
- (4) コミュニケーション力や表現力などの素養を持つ人。

●森林総合科学科

1. アドミッションポリシー

森林総合科学科は、次のような人を求めている。

- (1) 森林、環境、生物多様性、山村地域、木材・特用林産利用などに興味・関心を持っている人。
- (2) みどり豊かな国土・健全な地域社会を創造することや持続的な循環型社会の実現に向けての問題発見能力や問題解決能力を身に付けようとする人。
- (3) それらについて幅広い知識への関心や柔軟な思考能力を身に付けようとする意欲を持った人。
- (4) それらの実現に向けてチャレンジできる意欲を持った人。

●生産環境工学科

1. アドミッションポリシー

生産環境工学科は以下のような入学者を求めている。

- (1) 英語の基礎学力を有し、数学、物理、化学、生物のうち1つ以上の科目を受験科目として学んできた人。
- (2) ある問題についての現状や原因や対策について、限られた情報だけから判断することなく、関連領域から多面的に考えることができる人。
- (3) 数学と力学と情報技術について関心がある、または本学科が対象とする問題解決のために、それらを学ぶ意欲があり、自分から学習に臨むことができる人。また、現場への調査を厭わないなど、行動力ある態度が取れる人。
- (4) 積極的に自己をアピールでき、かつ他の人とのコミュニケーションを取れる人。
- (5) 学部在学中に、工学的な考え方や技術を身に付け、自分の将来計画を考えることのできる人。

●造園科学科

1. アドミッションポリシー

造園科学科は、次のような人を求めている。

- (1) 自然、緑、生きもの、環境、まちづくり、景観、デザイン、生活、健康、文化、歴史などに興味を持っている人。
- (2) 人間と自然が共生した空間や環境を実現するための知識と技術を備えたランドスケープの専門家として地域社会へ貢献することを目指している人。

●国際食料情報学部

1. アドミッションポリシー

国際食料情報学部では人類共通の課題として提起された食料・環境・エネルギー・経済成長・人口・情報などの諸問題を地球規模的視野で捉え、これらの問題解決のために取り組む人材を求めている。

- (1) 人類共通の課題として提起された食料・環境・エネルギー・経済成長・人口・情報などの諸問題を地球規模的視野で捉え、これらの問題解決のための専門的知識を身に付けたいという人。
- (2) 生物学等の理科系科目並びに国語・数学・社会・英語等の基礎科目に十分な学力を有している人。
- (3) 特定な科目に偏重しない広範な知識を学ぶ意志のある人。

●国際農業開発学科

1. アドミッションポリシー

国際農業開発学科では、環境保全に配慮した農業・農村開発を推進するために必要な教育・研究を行うとともに、国際的な視野で農業開発を実践する人材を求めている。

- (1) 特定科目に偏重しない広範な知識を学ぶ意思のある人。
- (2) 国際社会に貢献する意思を持ち、異文化理解のための柔軟な思考ができる人。
- (3) 途上国の農業・農村開発に関心があり、国際協力のために積極的に活動する意欲を持っている人。
- (4) 国際農業開発に関わる実践的な技能を身に付ける意思のある人。

●食料環境経済学科

1. アドミッションポリシー

食料環境経済学科では、食べ物の生産・販売・消費をめぐる広範な食料経済の領域において活躍する意欲を持つ人材、環境問題の解決に関心を持ち学んだ成果を普及・実践する人材等、次のような人材を求めている。

- (1) 食料・農業・環境分野に高い関心を持ち、その分野で活躍を希望する人。
- (2) 公務員、団体職員等の分野に高い関心を持ち、その分野で活躍を希望する人。
- (3) 教育、研究分野に高い関心を持ち、その分野で活躍を希望する人。
- (4) 広く社会的出来事に高い関心を持ち、日本及び世界の発展に貢献することを希望する人。

●国際バイオビジネス学科

1. アドミッションポリシー

国際バイオビジネス学科では、食料の生産・加工・流通等にかかわる企業の経営やマーケティング、情報処理技術、自然環境の評価や保全、地域資源の持続的活用などの知識を身に付けた食料・環境ビジネスの専門家を目指し、国内外で広く活躍したいと考える人材を求めている。

- (1) 食料の生産・加工・流通等にかかわる企業の経営やマーケティングの知識を身に付けた食料ビジネスの専門家を目指す人。
- (2) 食料の生産・加工・流通等にかかわる情報処理技術を身に付けた食料ビジネスの専門家を目指す人。
- (3) 自然環境の評価や保全、などの環境ビジネスの専門家を目指す人。
- (4) 地域資源の持続的活用などの知識を身に付けた食料・環境ビジネスの専門家を目指す人。

●生物産業学部

1. アドミッションポリシー

生物産業学部は食料自給や環境保全など人類共通の課題に興味を持ち、問題解決に向けて意欲的にチャレンジし、生物産業の発展に寄与すると共に、広く社会に貢献できる人を求めている。

- (1) 学部の教育目標の下で、生物産業学を修める意欲のある人。
- (2) 高校卒業程度の基礎学力を確実に修得している人。
- (3) 健全な人間関係の構築を可能にするコミュニケーション能力を有する人。
- (4) 地域や社会に貢献しようとする強い意志、広い視野、明確な問題意識を有する人。

●生物生産学科

1. アドミッションポリシー

生物生産学科は食料資源や自然資源の宝庫であるオホーツク圏において、食料資源の生産、管理、生態系の保全、生物資源の機能などに興味を持ち、21世紀人類の課題である人と自然との調和に基づく食料自給率の向上や自然資源の保全に貢献できる意欲的な人を求めている。

- (1) 生物生産学を学ぶ上で必要な高校卒業程度の基礎学力を確実に修得している人。
- (2) 心身共に充実しており、地方都市においても積極的に生物生産科学を学ぶ力を有している人。
- (3) 人間関係の構築を可能にするコミュニケーション能力の素養を有する人。
- (4) 広い視野で地域や社会に貢献しようとする意志を持ち、それに向けての明確な問題意識や問題解決に対する強い意欲を有する人。

●アクアバイオ学科

1. アドミッションポリシー

アクアバイオ学科は、水圏の生物や生態系そして環境はもちろん、これらの保全や増養殖にも興味を持ち、オホーツク海から地球全体の生物、生態系や環境に関する問題の解決に積極的に取り組む意欲のある人を求めている。

- (1) 理科や数学の自然科学に関する科目はもちろん、国語や英語についても基礎的学力を身に付け、それを応用することができる人。
- (2) 得られた知識をもとに、様々な自然現象について創造的に深く考えて、自らの考えを的確にまとめることができる人。
- (3) 水圏における生物や生態系さらには環境に関する様々な問題に強く興味を持ち、自らの力で積極的に解決の糸口をさぐることができる人。
- (4) 与えられた様々な課題について自ら考えたことを、自らの言葉を用いて、多くの人々に平易に説明することができる人。

●食品香粧学科

1. アドミッションポリシー

食品香粧学科は、食品や香粧品に興味を持ち、これらに関する研究や開発・加工を通じて健全で豊かな社会生活を実現しようとする意欲のある人材を求めている。

- (1) 食品や香粧品が社会にとってどのような役割を持つかを考え、これらの基礎と応用を学ぶことで広く社会に貢献する強い意志を有する人。
- (2) 感性と五感を働かせて自然や生物について深く考えることの出来る人。
- (3) 食品や香粧品の原料や製品について、化学の観点から理解するための基礎学力を有する人。
- (4) 国語、英語、数学及び自然科学に関する基礎的な学力を身に付け、それを応用出来る人。

●地域産業経営学科

1. アドミッションポリシー

地域産業経営学科は、豊かな生物資源と自然資源を有するオホーツク地域をフィールドとして、生物産業を中心とした経営体の持続的発展と産業連携の支援手法、さらに地域産業の再生・活性化・創造に貢献できる問題解決型の地域産業経営学を修得し、世界に通用する実践力と社会的使命を果たす主体的な意欲に溢れた人を求めている。

- (1) 学部の教育目標の下で、生物産業学を修める意欲ある人。
- (2) 高校までの基礎学力を着実に修得している人。
- (3) 心身共に健全で自立した社会生活ができ、人間関係の構築を可能にするコミュニケーション能力を有する人。
- (4) 地域や社会に貢献しようとする広い視野、明確な問題意識、強い意欲を有する人。